

九州大学基金「若手事務・技術系職員の能力開発」事業による
平成29年度職員海外研修（アテネオ・デ・マニラ大学）
実施要領

趣 旨 本学の職員のうち、所属長が推薦する職員に対し、海外における英語訓練の機会を提供するとともに、協定校の実務の現場を実地に体験し、また担当者と交流することにより、大学職員として必要な実践的な英語能力の向上と業務遂行に資する国際感覚と企画能力の基となる想像力を養成する。

対 象 者 英語検定2級（TOEIC540～640）程度以上の英語力を有し、所属長が推薦する係長以下の事務職員及び技術職員（有期契約職員、特定有期職員及びパートタイム職員は除く）で、九州大学百周年記念事業、九州大学基金に寄附実績がある者を対象とする。（注）

国際化の時代背景に鑑み、大学職員としての業務内容が、多様化・国際化していることから、国際交流業務従事者及び将来国際交流業務に従事することを希望する者にとどまらず、職員全般から、現在の業務に本研修の成果を効率的に反映したいと考える者を広く対象とする。

定 員 2名

実施場所 アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン国マニラ市）

実施期間

平成29年9月25日（月）～11月3日（金）

第1週～第5週はAteneo Language Learning Centerで英語研修。第6週はアテネオ・デ・マニラ大学内の事務所で実務研修。実務研修先は研修生の研修計画書に基づき、アテネオ・デ・マニラ大学と協議して決定する。

推薦締切 平成29年6月29日（木）までに、別添の和文「研修計画書」と英文申請書（履歴および研修計画）を国際交流推進室に提出すること。

面 接 応募者全員に対して日本語による面接（1人15分程度）を国際部において行う。面接時間と場所は本人に通知する。

旅 費 九州大学の規定により、福岡・マニラ間の往復航空運賃、及び研修期間中の日当、宿泊料を支給する。（旅費支給手続きは国際部で行う）

旅費は九大基金支援の50万円から派遣先に支払う研修費用を差し引いた額を上限とする。

（研修費用は派遣先機関がサポートする現地でのSpecial Study Permit取得費用も含めてH28年度実績でUS\$695.33）

研修生選考 研修計画書の審査、及び面接により選考し、決定する。

修了書 受講修了書を発行し、人事記録に記載する。

研修成果報告書 受講者は帰国後1か月以内に報告書を提出する。報告書は概要（短縮版）をホームページに掲載する。<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/teacher/english-program>

（注）「九州大学百周年記念事業、九州大学基金に寄附実績がある者」についての確認は、総務部同窓生・基金課（092-802-2150）に問い合わせること。